

# 足跡から学ぶ、明日の甲賀

## 甲賀の郷土史、大正15年以来 81年ぶりに刊行

市では市制施行以降、旧5町の特色ある歴史文化を新たに見つめ直し、その魅力を紹介する「甲賀市史」の編さんに取り組んでいます。  
12月20日、甲賀市史第一巻を発売しました。歴史ある甲賀の歩みを解き明かす歴史書としては実に81年ぶりにつくられたものです。

現在は先人たちの培った多くの史実があるからこそ存在します。今も暮らしの中に息づいています。郷土の歴史を知り、先人の知恵を学ぶこと、またそこから新しい知識を見出すことはこれからのまちづくりのために大変重要なことであり、市民の地域愛、郷土愛につながるものです。



市史は、単なる歴史書でなく、まちづくりの資料

市史というのは、文字通りこれまでの甲賀市の歴史です。しかしながら、その時々に進められたまちづくりの様子やまとめられた貴重な資料でもあります。  
本書は古代から現代までの甲賀の変遷をたどる通史編と工芸品や建造物にスポットを当てた分野編とで構成し、様々な視点で歴史を紹介しています。

時代が進み、生活は利便性が高まりましたが、古代から多くの人が生活の向上を願い、進めてきたまちづくりの思いは、今も昔も変わるものではありません。

市の豊かな自然の恵みや、多くの歴史文化は大変大きな財産です。この財産を知るため、そして未来に活かすため、甲賀の歴史がひもとかれようとしています。

今月号では、貴重な資料編さんに携わられている方、市民の方に、市史に寄せられる期待とは何かをお伺いしました。

### 先人の営みに 想いを馳せて

甲賀市史に思う

編集に携わられている方、市民の方の声を聞きしました。

#### 市史の刊行によせて

市史編さん委員会委員長

瀬古 一郎さん

合併新時代の趨勢により、県下にさきがけて誕生した甲賀市、その歴史をひもと

きますと、壬申の乱をはじめとして、一時にせよ聖武帝の都となった紫香楽宮、花開く仏教文化、甲賀武士の活躍、さらには街道のにぎわいや特色ある地場産業など、歴史文化の香り高く栄えてきたことが知られます。

一方、新名神の開通にもない企業立地が盛んになっているように、今後の一層の発展が期待されています。このようなときに「温故知新」の言葉のとおり、「甲賀市史」第一巻が刊行されたことは、まことに時宜を得たものです。執筆の諸先生もそれぞれの分野の一線で活躍されている方ばかりです。ぜひわが家に一冊備えていただきますようお願いいたします。

#### 甲賀市史へ期待

谷村 定義さん

合併して3年、待望の甲賀市史第一巻が刊行されました。

古墳時代水口町植に全国各地に5遺跡しかない大型倉庫建物群が建てられていたこと、また、紫香楽宮は信楽町宮町にあったこと、おなじく黄瀬の鍛冶屋敷遺跡からは、大仏建立に使わ

#### 歴史を見つめ未来へ

渡邊 直子さん

大学で考古学を学んでいた私は、2年前の冬、市史の古墳調査に参加しました。それが、それまで甲賀にこれほど多くの古墳があることを知りませんでした。保存状態の良い古墳を目の当たりにし、とてもわくわくしたことを覚えています。

れたであろう大規模な銅精錬所が発掘されたことなど、最近の情報が記載されています。

日本史の新たな一ページが甲賀市から発信されていることに誇りを持ち、興味深く読みました。随所に写真や地図が入れられ、目でも楽しめる市史となっています。これら写真類がCDなどに収められ、カラーで見られることを切望します。

甲賀市にまもなく新名神が開通します。時間の流れとともに「郷土」のすがたはどんどん変わっていきます。しかし、「今」の甲賀があるのは、これまでの「足跡」があるからです。

その「足跡」を見つめ直し、未来へつないでいくために、市史が活用されることを期待したいと思えます。続巻の刊行を心より楽しみにしています。

## 甲賀市史第一巻『古代の甲賀』 刊行を記念して講演会

ふるさと甲賀市の歴史は、今を生きる私たちにとって大切な財産となります。

第一巻「古代の甲賀」の刊行を記念して、12月16日(日)に記念講演会が忍の里プラザで開催され、市民の方を始め、多くの方が来館されました。

記念講演会では、甲賀市史編集委員長の成安造形大学木村至宏学長が、甲賀市の魅力ある史実などから甲賀市史がめざすところを、また、京都女子大学の瀧浪貞子教授の、「聖武天皇の夢と紫香楽宮」と題しての講演などが行われ、参加の皆さんは熱心に聞き入っておられました。



### 『甲賀市史』第一巻 『古代の甲賀』好評発売中

今回刊行の第一巻では、郷土の大地を作る地質の変遷を追うとともに、その広がりや断層などを示した「甲賀市地質図」が付き、自然と暮らしの意外な関係に気づかされます。

歴史では紫香楽宮はもちろん、古代以来絶えず甲賀を通ってきた東海道の変遷、鈴鹿峠の山賊と田村麻呂の活躍など全国的に知られた史実や伝説の示す意味が、新説を交え紹介されます。古代東海道がなせ川ルートから鈴鹿峠ルートに代わったのか、古代日本のなかの甲賀の位置づけともかわり、たいへん興味深い内容となっています。

甲賀市史は次の5か所で販売中です。

◆一般販売価格 1冊 3,500円

◆水口歴史民俗資料館 (10:00～17:00 月休館)

◆土山歴史民俗資料館 (10:00～17:00 月・火休館)

◆かふか生涯学習館 (10:00～18:00 月休館)

◆市史編さん室(甲南庁舎3階) (8:30～17:15 土・日・祝開庁)

◆信楽中央公民館 (8:30～17:15 土・日・祝休館)

#### 問い合わせ

歴史文化課市史編さん室

TEL 86-82116

FAX 86-82116



古墳群の調査

編集作業